

冬ごもりプロジェクト

# TSUKUBA ART LABO 2025-2026 vol.3

## ——二人で絵を描く会 展覧会

期間 | 2026/1/26(月)-2/8(日)  
9:00-22:00 最終日2/8(日)は15:00まで

会場 | 筑波交流センター(つくば市北条5060)

入場無料

つくばアートラボは、さまざまな分野のアーティストやクリエイターの実践を通して、創作の魅力を誰もが体験できる場をつくるプログラムです。1月と2月は、寒い冬を手を動かして楽しく過ごす「冬ごもりプロジェクト」として2つのワークショップを企画しています。

1月は、世界各地を旅して創作活動続けるアーティスト・井上拓哉(いのうえ・たくや)さんを迎え、「二人で絵を描く会」を開催しました。井上さんは、筑波大学と東京藝術大学で学び、卒業後は国内をはじめヨーロッパ各地、最近では中国やカナダなどで、その土地の人々と交流しながら身近な風景を描き、人の営みや存在にまつわる普遍性を探求しています。

展示している作品は、ワークショップで参加者と井上さんそれぞれが制作した絵画です。初めて出会う二人が、限られた時間の中でコミュニケーションをとりながら、描きを重ねました。手を動かして交わした対話や質問、応答、そして言葉にならない沈黙が、絵画のなかに織り込まれています。

合作や共同制作とは少し異なり、二人が一緒に過ごすことで生まれた個々の作品たち。そのプロセスに思いを巡らせながら見ていただくことで、作品と見る方の間に新たな関係が立ち上がることを期待しています。

主催：つくば市

# ワークショップの作品について 講師・井上拓哉

この作品は、私と参加者の方が二人で対話をしながら描いた絵です。

「好きな歌は?」「嫌いな食べ物?」「行きたい場所は?」「住んでいる街の風景は?」

そんな他愛もない質問を重ね、その答えを色に置き換えるとしたらどんな色になるかを想像してみます。対話の中で出てきたそれぞれの思い出や感情、その一つ一つを絵具に置き換え、キャンバスにのせていきました。

同じお題でも、二人それぞれがつくった色を見比べると、自分と同じだと共感することもある、全く異なる色が現れることもあります。

「なぜその色か」を尋ねてみると、私とは違うその人の世界が、少しずつのぞいて見えてきます。自分が他の人と同じ世界を見ていると気づいたとき。あるいは、自分とは違う世界を見ているのだと気づいたとき。この絵を描き終えたあとでは、自分の姿や相手の姿が、それまでとは少しだけ違って見えるかもしれません。

私が絵を描きながら感じているこのような視点の変化を、皆さんにもなぞっていただけるきっかけになれば嬉しいです。参加者の皆様、今回はご参加いただき誠にありがとうございました。この絵をご覧になっている方も、もし興味が湧きましたら、ぜひ誰かと一緒に二人で絵を描いてみてください。

## ワークショップ情報 —開催終了—

日時：2026年1月24日(土)・13:00-15:00／・16:00-18:00

1月25日(日)・10:00-12:00／・13:00-15:00／・16:00-18:00

\*各回1名ずつ参加

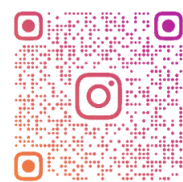
会場：筑波交流センター2階 工作室

講師：井上拓哉(アーティスト) Website: ioueaua.com



▶つくば市では、芸術文化に関する活動や情報のプラットフォームとなる施設として、旧田水山小学校(水守620)をリノベーションし、「つくば市芸術文化創造拠点」の整備を進めています。

多彩なアーティストと市民が関わり合いながら創造する場として、2026年後半のオープンを予定していますので、どうぞお楽しみに!



ART\_X\_TSUKUBA